原本 1/27実施

解答用紙　国語

受験番号 □□□□□□

/100

一 /31

問一
（一）ばんこく
（二）競う
（三）介在
（四）へる
（五）凹凸

問二
（~~一~~ア）仮名失読と
（~~二~~イ）日本人だけが文字を読む際、仮名と漢字を読む脳の場所が異なるから。

問三 耳

問四 音から文字

問五 あいうえお

③×5　④×2　②　④　②　← 配点

二 /42

問一 ウ

問二
（二）こんせき
（三）しいて
（七）はやりすたり

問三 用途

問四
（四）おおげさ
（六）ためらう

問五 イ

問六 ×

③×5　②×4

問七 メモアプリかメモ帳か、使いやすい方でどんどん書く方法

④

問八

P	R	E	P
（例）信頼できる情報源を選択し、資料を収集することが有効です	個人の思考は経験則にしばられがちで、フェイクでない新たな情報がなければ独断に陥ってしまうからです。	デジタル社会において、SNSからの情報量は増加しています。一方で対面による会話や講演等からの情報も欠かせません。	おびただしい情報に対してファクトチェックの能力を身につけることが、自らの思考を深化させることにつながります。

⑮

三 /27

問一
①（例）以心伝心で言葉を用いなくても伝わる文化がある。
②（例）師の背中を見て学ぶ伝統がある。
③（例）特に女性は、自らの意見を述べることを美徳とされなかった。

④×3

問二

⑮

原本

受験番号 □□□□□□

解答用紙　国語

1/28実施

/100

一

/31

問一
（一）ばくぜん
（二）喚起
（三）幽霊
（四）ぶきみ
（五）映し

③×5

問二 安心

問三
B 不安
C 恐怖

②×3

問四 その人や物が本来もっている姿

問五 なにかが現れたり、コワいことが起こったりしそうな雰囲気

③×2

問六 日本人　はっきりとは見えないものに不安を抱き、怖れる。
米国人　不気味なものと認識できるものに対して怖れる。

④

二

/42

問一 エ

問二
（二）のっとって
（四）てきぎ
（五）なごやか

③×5

問三 不意に

問四
（八）楽しく語り合う
（九）心を込めて

②×4

問五 ウ

問六 ○

問七 筋道を立てて思考し、自分の中で矛盾なく成立している考え

④

問八 （例）

P	R	E	P
日頃の授業でのグループワークが発信と傾聴のトレーニングをする場になっています。	授業は毎日あり、対話によって最適解を模索する作業は絶好の機会になるからです。	対話をする前提として、テーマに添った意見を各自がもたねばなりません。主張する勇気と同時に相手の考えを受容する柔軟性が求められます。	制限時間があり授業ごとの対話時間は限られていますが、様々な課題について話し合えるのが利点です。

⑮

三

/27

問一
①（例）メディアが誤用して放送している。
②（例）日常会話で「潮時」という言葉を聞かない。
③（例）ニュアンスでなんとなく伝わればよいという感覚が強い。

④×3

問二

⑮